

# 2014年 日本催眠医学心理学会・日本臨床催眠学会 共催 催眠技法研修会のご案内

催眠の理論から技法の習得まで、両学会が認定した催眠技能の指導資格を持った講師陣が、皆様にご指導いたします。本研修会の修了者は、両学会が認めるいずれか一つの催眠の資格申請・更新のためのポイントを取得できます。また、本研修会は、日本精神神経学会や日本心身医学会の専門医、および臨床心理士の資格更新に関する研修の一つにもなります(研修証明書を発行します)。

【研修会の期日・会場】 期 日 : 2014年10月17日(金)9:20~18:00 (受付開始 9:10)  
会 場 : 一橋大学一橋講堂 特別会議室(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター1階)  
交 通 : 東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線/神保町駅徒歩4分

【研修コース】 「事例検討と全体討論」の時間は全コースが1つに集まります。

《両学会共通》

- ①初級・基礎コース(定員30名) : 催眠技法研修会を受講したことのない方や復習したい方を対象としています。  
●主な内容: 催眠の基礎理論、催眠の基礎・導入、事例検討、基礎的な誘導・深化 など
- ②中級コース(定員30名) : 以前に催眠技法研修会を受講したことのある方を対象とし、実技を中心に基礎技法の復習と臨床適用につなげる催眠法の使い方の習得、理解を深めます。  
●主な内容: 種々の誘導・深化技法、催眠の臨床適用、事例検討、種々の臨床技法 など
- ③上級・実践コース(定員20名) : 中級コースに3回以上参加した方を対象に、催眠誘導の技能が向上することを目的としています。実証研究(主に臨床)を学ぶ機会を含めて、今後の催眠学への貢献につなげます。  
●主な内容: 事例に応じた臨床適用、実証研究のすすめ方とまとめ方、相互研修、全体討論 など
- (各コースによっては、これまでの技法研修会と同一の内容の箇所がございますが、本学会の研修内容について重要と考えているからです。ご承知おき下さい。)

《日本催眠医学心理学会・認定催眠士のみを対象》

④指導者研修機会コース : 認定催眠士が対象となり、受講の可否は資格認定委員会が審議します。「指導催眠士」申請に備えた研修機会として設定し、初級・中級・上級の各コースのいずれかのコースを選んで指導催眠士の下で指導の仕方を体験的に学びます。詳しくは、企画・教育委員長(井上忠典;t-inoue@tsu.ac.jp)まで問い合わせください。

※すべてのコースで9:20~18:00のプログラムのすべてに参加することにより、研修会に参加したと見なされます。遅刻や早退については、参加証明証が発行されないことがありますので、ご注意ください。また、日本臨床催眠学会で通常開催している事例検討会は、今回はありません。プログラムにある「事例検討と全体討論」は各コースの研修の一部となります。

【参加資格】両学会会員、及び催眠に関心を持ち、医療・心理・教育・福祉などの分野で研究や対人援助職に携わり、参加が適当と認められる方(大学卒業程度以上)、もしくは、上記分野を専攻する大学生または大学院生で参加資格が適当と認められる方です。参加申込書をもとにして、担当理事による参加資格審査を行いますので予めご了解下さい。10月7日(火)までに参加の可否についての審査を行い、参加可能な方については何も通知いたしません。参加許可が得られなかった方には、その旨を通知し、研修会参加費を返金いたします。

また、各コースとも参加者多数の場合、両学会員の申込みが優先されます。なお、初級コースは、非会員の受付も可能ですが、中級コース以上の研修会参加は、両学会員のみ限定します。

【参加費】①~④コース : 両学会会員 15,000 円、非会員 18,000 円、大学院生 12,000 円

【申込み・参加費振込】 締め切り : 2014年9月30日(火)(必着)

参加資格をご熟読の上、参加申込書に必要な事項を全てご記入し、9月30日(火)(必着)までに次頁の申込先へEメールまたはファックス、郵便にてお申し込み下さい(電話でのお問い合わせはご遠慮下さい)。また、参加費も同日までにお振り込み下さい。なお、参加者自身の都合によりキャンセルした場合、払い戻しはいたしませんのでご留意下さい。

【研修ポイント】 すべてのコースで9:20~18:00のプログラムのすべてに参加することにより、研修会に参加したと見なされます。遅刻や早退については、参加証明証が発行されないことがありますので、ご注意ください。また、日本臨床催眠学会で通常開催している事例検討会は、今回はありません。プログラムにある「事例検討と全体討論」は各コースの研修の一部となります。

今回は、両学会の合同研修会ですが、両学会所属の会員が研修会に参加する場合には、いずれか一方の学会の研修ポイントになります。どちらのポイントを申請するのか、申込み時にご記入ください。いずれかの研修修了証を終了時にお渡しいたします。また、その修了証によって日本精神神経学会や日本心身医学会の専門医、および臨床心理士の資格更新ポイントになります。申請される方は、申込み時にご記入ください。

《申込先》日本催眠医学心理学会第60回・日本臨床催眠学会第16回合同大会事務局

Email:jsh60jsch16@gmail.com Fax:03-5487-3274

郵便の宛先：〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16 立正大学心理学部 田村英恵研究室

日本催眠医学心理学会第60回・日本臨床催眠学会第16回合同大会事務局 宛

《振込先》

〈ゆうちょ銀行〉当座預金【口座番号】00110-1-633988【口座名称】JSH60回・JSCH16回大会事務局

〈他行(一般銀行)等〉【店名】〇一九(ゼロイチキョウ)【店番】019【預金種目】当座預金【口座番号】0633988

.....

日本催眠医学心理学会・日本臨床催眠学会 共催 2014年10月17日(金) 9:20~18:00

## 催眠技法研修会 スケジュール

10月17日 (金)	《催眠の初歩》 初級 基礎コース	《催眠を使いこなす》 中級 コース	《催眠の技倆を磨く》 上級 実践コース
9:20~9:30(10分)	オリエンテーション		
9:30~11:00 (90分)	【A-1】 講義 「催眠の基礎理論と倫理」 笠井 仁	【B-1】 講義&実習 「催眠の臨床適用の工夫」 田中新正・福井義一	【C-1】 講義&実習 「臨床適用の工夫・コツⅠ」 鶴 光代
11:00~11:10	休憩		
11:10~12:40 (90分)	【A-2】 実習 「催眠の基礎・導入」 運動催眠(後倒法、腕下降等) 田中新正・松原 慎	【B-2】 実習 「種々の誘導技法Ⅰ」 暗示の工夫・コツと 多様な催眠現象に馴染む 仁木啓介・笠井 仁	【C-2】 講義&実習 「臨床適用の工夫・コツⅡ」 松木 繁
12:40~14:00	昼食休憩		
14:00~15:30 (90分)	【A-3】 実習 「基礎的な誘導・深化」 技術を磨く・適用に繋げる 鶴 光代・松原 慎	【B-3】 講義&実習 「自己催眠の体験」 (自律訓練法を含む) 笠井 仁・仁木啓介	【C-3】 実習 「催眠技法の相互研修」 松木 繁
15:30~15:40	休憩(移動)		
15:40~17:50 (130分) 休憩含む	事例検討と全体討論 事例提供者を募集します。 指定討論者：鶴 光代・松木 繁 司 会：石井広志		
17:50~18:00(10分)	今後に向けて(修了式に代えて)		

【担当講師 予定】(50音順)

「指導催眠士」の有資格者：笠井 仁・田中新正・鶴 光代・松木 繁

「臨床催眠指導者」の有資格者：仁木啓介・福井義一・松木 繁・松原 慎

大会会長：石井広志・笠井 仁

【研修総時間数】：7時間 (理論分野 3.0ポイント, 実技分野 4.0ポイント)